

# 脳神経外科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

脳神経外科診療の対象は、国民病とも言える脳卒中（脳血管性障害）や脳神経外傷などの救急疾患、脳腫瘍に加え、てんかん・パーキンソン病・三叉神経痛・顔面けいれん等の機能的疾患、小児疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患などです。脳神経外科専門医研修では、初期臨床研修後に専門医研修プログラム（以下「プログラム」という）に所属し4年以上の定められた研修により、脳神経外科領域の病気すべてに対して、予防や診断、手術的治療および非手術的治療、リハビリテーションあるいは救急医療における総合的かつ専門的知識と診療技能を、獲得します。

本文は聖隷浜松病院脳神経外科専門医研修プログラムの概要を示すものです。

プログラムリーダー 聖隷浜松病院脳神経外科部長 田中 篤太郎



## 2 目的

脳神経外科専門医の使命は、脳卒中（脳血管性障害）や脳神経外傷などの救急疾患、脳腫瘍に加え、てんかん・パーキンソン病・三叉神経痛・顔面けいれん等の機能的疾患、小児疾患、脊髄・脊椎・末梢神経疾患これらの予防や診断、救急治療、手術および非手術的治療、あるいはリハビリテーションにおいて、総合的かつ専門的知識と診療技術を持ち、必要に応じて他の専門医への転送判断も的確に行うことで、国民の健康・福祉の増進に貢献することです。

## 3 目標

当プログラムでは後期研修医一人あたりの症例数が圧倒的に多いため、後期研修医として習得すべき手術手技を効率よく習得することが出来ます。将来は大学での研究に興味もあるが、まずは臨床経験をしっかり積んでから研究を考えたいという先生にはぴったりのプログラムとなっています。

※専門医認定要件については、日本脳神経外科学会 専門医認定制度内規（平成27年10月13日改正）を確認してください。

当プログラム後期研修医は、年間学会発表数は5—8回で、昨年は後期研修医の発表で3件の座長推薦論文（学会誌への掲載推薦）を得ています。また海外の学会の発表も奨励しており、後期研修中にすくなくとも平均2回程度の海外発表を行なっています。

## 4 特徴

聖隷浜松病院は豊富な症例数を持つ歴史ある病院です。新臨床研修制度となった2004年以降、すでに7名の後期研修医が当プログラムで脳神経外科医としての後期研修を開始し、うち4名が専門医に合格して3名が現在後期研修中です。

## 5 研修カリキュラム

プログラム全体では学会規定にある以下の要件を満たしています。(別表1)

- (1) SPECT / PET 等核医学検査機器、術中ナビゲーション、電気生理学的モニタリング、内視鏡、定位装置、放射線治療装置等を有する。
- (2) 以下の学会より円滑で十分な研修支援が得られています。
  - ア 脳腫瘍関連学会合同（日本脳腫瘍学会、日本脳腫瘍病理学会、日本間脳下垂体腫瘍学会、日本脳腫瘍の外科学会）
  - イ 日本脳卒中の外科学会
  - ウ 日本脳神経血管内治療学会
  - エ 日本脊髄外科学会
  - オ 日本神経内視鏡学会
  - カ 日本てんかん外科学会
  - キ 日本定位・機能神経外科学会
  - ク 日本小児神経外科学会
  - ケ 日本脳神経外傷学会
- (3) 基幹施設と連携施設の合計で原則として以下の手術症例数を有する。
  - ア 年間500例以上（昨年手術実数 813 ）
  - イ 腫瘍（開頭、経鼻、定位生検を含む）50例以上（昨年手術実数 96 ）
  - ウ 血管障害（開頭術、血管内手術を含む）100例以上（昨年手術実数 103 ）
  - エ 頭部外傷の開頭術（穿頭術を除く）20例以上（昨年手術実数 24 ）
- (4) 各施設における専攻医の数は、指導医1名につき同時に2名までです。
- (5) 研修の年次進行、各施設での研修目的を例示しています。
- (6) プログラム内での専攻医のローテーションが無理なく行えるように地域性に配慮し、基幹施設を中心とした地域でのプログラム構成を原則とし、遠隔地を含む場合は理由を記載します。
- (7) 統括責任者および連携施設指導管理責任者より構成される研修プログラム管理委員会を基幹施設に設置し、プログラム全般の管理運営と研修プログラムの継続的改良にあたります。

## 6 研修例

下記の subspecialty 認定医がいます。

専門医名/認定医名	基幹施設	基幹+連携施設 合計数
日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医	3	5
日本脳神経血管内治療学会認定 専門医	0	3
日本脳神経血管内治療学会認定 指導医	0	2
日本脊髄外科学会 脊髄外科認定医	1	3
日本脊髄外科学会 指導医	1	1
日本神経内視鏡学会 技術認定医	3	4
日本てんかん学会 専門医	3	3
日本定位・機能神経外科学会 技術認定医	0	1

## 7 研修病院群

プログラムは、単一の専門研修基幹施設（以下「基幹施設」という）と複数の専門研修連携施設（以下「連携施設」という）によって構成され、必要に応じて関連施設（複数可）が加わります。なお専門研修は、基幹施設及び連携施設において完遂されることを原則とし、関連施設はあくまでも補完的なものです。当プログラムの構成は以下の施設からなります。

基幹施設： 聖隷浜松病院 連携施設： 聖隷三方原病院 聖隷沼津病院

関連施設： 聖隷横浜病院（2017年度より連携施設となる予定） 浜松医科大学

## 8 研修期間

パターン	研修年次	施設名	主たる研修内容
A	1	聖隷浜松病院	脳神経外科一般、脳腫瘍、血管障害、機能的疾患
	2	聖隷浜松病院	脳腫瘍、血管障害、脊椎脊髄
	3	聖隷三方原病院	脳神経外科一般、脳血管障害、地域医療
	4	聖隷浜松病院	脳神経外科一般、小児脳神経外科
B	1	聖隷浜松病院	脳神経外科一般、脳腫瘍、血管障害
	2	聖隷浜松病院	脳腫瘍、血管障害、機能的疾患
	3	聖隷沼津病院	脊椎脊髄、地域医療
		聖隷横浜病院	地域医療、血管内治療
	4	聖隷浜松病院	脳神経外科一般、小児脳神経外科
C	1	聖隷浜松病院	脳神経外科一般、脳腫瘍、血管障害、機能的疾患
	2	聖隷浜松病院	脳腫瘍、血管障害、脊椎脊髄
	3	聖隷三方原病院	脳神経外科一般、脳血管障害、地域医療
	4	浜松医科大学附属病院	機能的疾患、研究参加、血管内治療

以上はスケジュール例です。